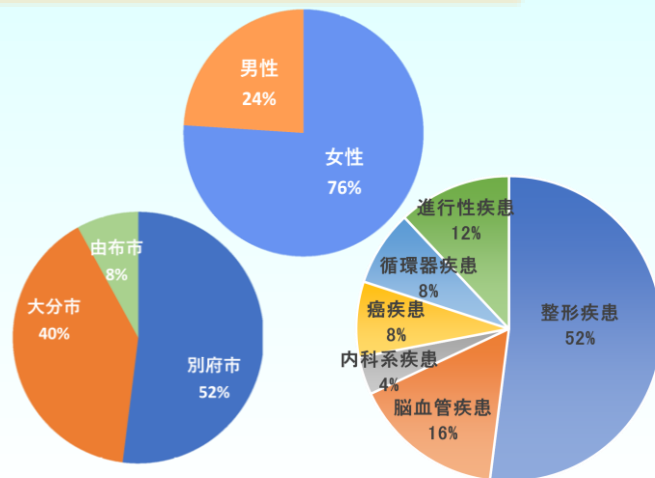


自費リハビリサービス利用者統計

現在まで自費リハビリサービスをご利用された方の男女比・疾患割合・地域割合を算出しました。お陰様で約1年が経過し、様々な地域や疾患の方と関わらせて頂いています。

リハビリのない医療機関や、介護付き有料老人ホームなどにも介入させて頂いています。

卒業された方は、買い物へ行けるようになった方や、エスカレーターに乗れるようになった方、独りで入浴できるようになった方などもいらっしゃいます。短期目標でのご利用も可能です。



職員向け勉強会 ～座位移乗篇～



施設の介護職員やヘルパーさん向けに、トランスファーボードとスライディングシートの勉強会の講師をさせて頂きました。30分という短い時間でしたので、全員が体験する事は難しかったのですが、使用方法を理解すると、その利便性に驚いている方もいらっしゃいました。意外に、これらの福祉用具の存在は知っているけど活用されていないのが現状です。腰痛による離職率は非常に高く、身体の使い方や腰痛を防ごうとされる職場も少なくありません。しかし、身体の使い方だけでは腰痛は防げない事を理解する必要があり、道具を活用する重要性を知って頂きたいと思いました。

リハビリコラム

“餃子作り”でリハビリを

Aさんは、とても料理が得意です。しかし、病気を患ってから料理をする事を止めてしまいました。Aさんは作業(=料理)を半ば諦めていましたが、病前よく作っていた餃子作りを計画し行う事としました。

作業療法では、餃子作り(作業)を使って機能の回復を促す事を「回復モデル」と言います。また、餃子作り(作業)の実践練習を行い作業を習得する事を「習得モデル」と言います。

今回そのどちらのモデルも活用しながら餃子作りを行いました。手指の巧緻性や、握力、ピンチ力、立位耐久性、集中力、効率性、等々の技能の訓練となります。また、何より完成した時の達成感など、成功体験から幸福感を得る事ができます。とても美味しい餃子が出来ました。

